

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	うじたわらっ子育てプロジェクト		実施期間	平成29年度～	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本町の人口は平成17年の10,060人をピークに減少に転じ、労働力の減少や地域活力の低下、社会保障費の増加など様々な面での影響が懸念されている。 住民アンケート調査では、人口増加を求める意向が多く、若いファミリー層は児童施設や子育て支援の充実を望む声が多くなっている。このため、結婚や子どもを産み育てやすい環境整備に努める必要がある。							
プロジェクトの目的及び概要	「若い世代の希望をかなえ、元気なうじたわらっ子を育む」ため、出産や子育てに関する不安を解消する各種子育て支援制度を充実させるほか、英語教育など、特徴ある教育プログラムの実施により、子どもの可能性を伸ばす環境づくりを行うとともに、子どもや家族が気軽に集まることのできる交流の場を形成する。							
	総事業費（千円）	78,226	本年度事業費（千円）	78,226	交付金額（千円）	12,478		
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
	育児用品購入助成事業	交付対象事業	乳児の子育てに係る保護者の経済的負担を軽減するため、おむつ等育児用品の購入費用を助成する。		○育児用品購入助成金 ・対象人数 55人			
	もうすぐ1年生保育所体育教室実施事業	交付対象事業	町立保育所に通所する児童を対象に、就学前に体得しておきたい運動能力等について専門家による指導を行う。		○体育教室 ・開催回数 年間16回 ・実施内容 整列・マット運動、器具運動、プール遊び、縄跳び、ボール運動			
	保育所安心安全対策事業	交付対象事業	町立保育所内の安心安全対策の向上を目的として、安全巡視員を配置し不審者侵入の防止を行う。		○安全巡視員配置 ・配置時間数 1049.5時間 ・配置日数 293日 ・保育所送迎時における事故発生件数 0件 ・保育所内への不審者侵入件数 0件			
	一時保育施設等整備事業	交付対象事業	一時保育室等の保育スペースを確保するため、保育所の敷地内に保育園舎を増築する。		○一時保育施設整備（H29.10月から利用開始） 保育スペースを新たに確保するとともに、近年ニーズが高まっている年度途中の乳児の受入に対応するため、保育所の敷地内に一時保育施設を増築し、子育て支援の充実を図った。 ・受入児童数 H29:952人 H28:755人			
	高校生通学費補助金	交付対象事業	保護者の経済的負担軽減と生徒の就学支援推進のため、高校等の通学に係る費用に対して補助を行う。		○高校生通学費補助金 ・補助件数 251件			
	英語力向上推進事業	交付対象事業	生徒の英語への意識向上と英語活用能力の向上のため、英語検定の受験を促進する。		○希望者一人につき1回分の受検費用の支援を実施。 ・合格者数 2級 1名 準2級 7名 3級 25名 4級 62名 5級 62名			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：宇治田原町

市町村 実施事業	子育て支援医療費支給事業	関連事業	出生から中学校修了までの子どもを対象に医療費の助成を行い、安心して子どもを育てる環境を整備する。	○出生から中学校終了までの医療費助成 ・年度未受給者数 1,111人 ・府制度のみ（満3歳未満） 166人 ・府制度と町制度 919人
	子育てサービス利用支援事業	関連事業	地域子育て支援センターに保健師を配置し、保健センターの母子保健事業等と一体となって、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない子育て家庭への支援を行う。	○実績 ・母子手帳交付 54人 ・不妊治療申請 8人 ・授乳育児相談 28人 ・妊婦訪問 9人 ・妊婦相談 33人
	不妊治療給付事業	関連事業	経済的負担の軽減を図るため、不妊治療を受けている夫婦等に費用の一部を助成する。	○不妊治療助成件数 ・一般不妊治療 8人
	ハッピー・マタニティ支援事業	関連事業	妊婦の健康確保及び経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査に必要な費用を助成する。	○妊婦健康診査費用助成件数 ・申請者数 79人
	母子保健事業	関連事業	乳幼児と母親の健康増進を図るため、保健指導や乳幼児健康診査、乳児家庭訪問等を行う。	○マタニティ事業 ・ハイリスク妊婦訪問 35件 ○新生児訪問 ・訪問児数 46件 ○乳幼児健康診査事業 ・乳幼児～三歳児 156件 ○乳幼児相談事業 ・健康相談・発達相談 104件 ○離乳食教室 5回
	外国人青年招致事業	関連事業	英語指導助手を配置し、児童生徒が英語や異文化に触れることによりグローバル社会への適応力を培う。	○英語指導助手（ALT）の配置 ・ALTの配置人数 2人 ・指導実績 中学校 週に5日 小学校及び保育所、幼稚園 週に5回
	幼稚園教育振興事業	関連事業	私立幼稚園に在籍する園児の保護者に対して入園料及び保育料の支援を行う。	○補助実績 17件
	学校施設環境整備事業（小・中）	関連事業	教育環境の改善と安全性を確保するため、経年劣化等がみられる学校施設の改修等を行う。	○学校施設の整備改修 ・田原小学校 1件 ・宇治田原小学校 2件 ・維孝館中学校 1件
本に親しみ豊かな心を育む図書整備事業（小・中）	関連事業	学校図書室に図書館司書等を配置し、児童の読書活動を促進する。	○学校図書館司書配置 各小中学校1人ずつ 計3人	

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：宇治田原町

	放課後児童健全育成事業	関連事業	児童の健全な育成を図るため、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、遊びや生活の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田原元気っ子クラブ 平均登録人数 56人 1日平均 29.8人 開設日数 291日</li> <li>・宇治田原元気っ子クラブ 平均登録人数 51人 1日平均 31.2人 開設日数 292日</li> </ul>
	「みんなで子育て・孫育て」家庭応援事業	関連事業	父親や祖父母世代への育児参画を促すことにより、母親の育児負担軽減を図り、子育てを応援する事業を行う。	<p>&lt;ハバの子育て応援事業&gt; 内容：食育広場・妊婦体験・沐浴指導・わらべうた遊び・講演会等 開催回数：11回 参加人数：大人88人（内、父親16人）子81人 計169人</p> <p>&lt;いきいき孫育て事業&gt; 内容：沐浴指導・健康体操・やわらか抱っこ・食育広場等 開催回数：6回 参加人数：大人69人（内、祖父母31人）子31人 他8人 計108人</p>
住民協働事業	少子化対策推進事業	交付対象事業	婚活支援事業をはじめ、関係機関・団体と連携し、子育てしやすいまちを目指した少子化対策事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○少子化対策プロジェクト</li> <li>・町職員と町内企業社員間の若手の人材交流事業9社</li> <li>・「町内で働く若者」の交流イベント実施</li> </ul>
	児童遊園整備等事業	交付対象事業	子どもたちが地域で安心して遊ぶことができるよう、児童遊園の適切な管理及び整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童遊園の保守点検及び遊具修繕</li> <li>・保守点検箇所 21箇所</li> </ul>
	病児・病後児保育事業	関連事業	体調不良となった児童に対し保護者が迎えに来るまでの間、看護師による対応を図る。また病児病後児について近隣病院の病児保育室で保育を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病児・病後児型及び体調不良児型病後児保育事業を実施。</li> <li>・体調不良児型利用延べ人数 748人</li> </ul>
	茶の里っ子を育む学習事業（小・中）	関連事業	伝統文化や産業に関する知識を高め、宇治田原に誇りと愛着心を持つ子どもたちを育成するため、お茶等に関する学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茶検定の実施</li> <li>・3級合格者 77人</li> <li>・2級合格者 77人</li> <li>○総合的な学習時間にて社会人講師を招き、茶摘み体験、茶香服を実施。</li> </ul>
	放課後子ども教室推進事業	関連事業	地域住民の参画を得て、放課後に子どもたちがスポーツや文化体験活動等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通称「まなび茶ろん」の実施</li> <li>田原小学校、宇治田原小学校 各23回</li> </ul>
	寺子屋「うじたわら学び塾」運営事業	関連事業	教職員退職者や大学生等の指導による小・中学生対象の学び塾を設置・運営する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○寺子屋「うじたわら学び塾」の開講。</li> <li>・夏季事業 10講座 延べ参加者364人</li> <li>・冬季事業 5講座 延べ参加者166人</li> </ul>

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：宇治田原町

成果指標 ①	成果指標の目標数値	出生数(年間)：65人		成果指標の実績値	出生数(年間)：51人(平成29年度)	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	少子化対策はまちの将来のために喫緊の課題となっており、様々な施策を強化しているところであるが、それ以上に社会全体の少子化が進んでおり、出生者数が目標値に達しなかった。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標 ②	成果指標の目標数値	保育所待機児童数：0人		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	保育所待機児童数：0人(平成29年度)	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	町立保育所では待機児童が0人が続いており、児童を受け入れる状況は整っている。本町の人口との兼ね合いもあるが、今後とも待機児童数を出さないように取り組んでいく。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>「若い世代の希望をかなえ、元気なうじたわらっ子を育む」ため、上記事業を展開し、子育てに関する事業が充実してきた。しかし、全国的な課題である少子化の流れを解決できる施策であるとは言い難く、今後、少子化対策のための事業を創意工夫する必要がある。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	みらい戦略一括交付金を活用した事業と町の単独事業とを組み合わせ、プロジェクトとして一体的に推進することで、上記目標に繋がる成果をあげることができた。				
	府と市町村等との連携に資する成果					
	住民の自治意識を高める成果	少子化対策プロジェクトチームを結成し、町内の事業所と意見交換や交流を深めることで、少子化に対する課題を発見することができた。				
	リーディング・モデル成果					
	広域的波及成果					
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果	学校施設及び児童遊具などの設備の老朽化が進んでおり、子どもが安心して遊べる環境を整備することができた。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。